

議案番号		32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)					
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)	
款	10	総務費	項	5	総務管理費	目	1	一般管理費
事業番号		2	事業名		一般管理費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		職員、集落等			総合計画における位置づけ		
						32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		集落等の地縁に基づき、地域住民の共同の福祉を推進することを目的として形成された自治会等に対して、自治の振興及び行政事務の効率化を図り、本町の健全な発展を期する。			所信表明の「5本柱」における位置づけ		
						町民みんなが暮らしやすいまちづくり		
						根拠法令・要綱等		
					大山町自治会の基準及び補助金交付に関する要綱等			
補正前		今回補正額	今回補正額の財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
223,245		△ 3,132			△ 200	54	△ 2,986	
補正理由・事業概要					今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 職員人件費は、今後の執行見込みによる減額。 旅費は、嘉手納町派遣職員が1年延長となったことにより帰任旅費が不要となったことによる減額。 委託料は、実績による減額。 使用料は、システムの導入時期が9月から3月に変更になったことによる減額。 借上料は、嘉手納町への派遣予定が1年から2年に延長となり、令和6年度中に令和7年度の4月分(前月支払)の家賃を支払う必要が生じたことによる増額。 負担金は、額確定に伴う減額。 補助金は、額確定に伴う減額。					【職員手当等】 通勤手当(総務課分) △ 100千円 勤勉手当(総務課分) △ 600千円 【共済費】 共済組合負担金(総務課分) △ 1,100千円 【旅費】 普通旅費(総務課分) △ 350千円 【委託料】 職員健康診断委託料 △ 140千円 職員採用試験委託料 △ 100千円 【使用料及び賃借料】 被災者支援システム使用料 △ 182千円 住宅借上料 56千円 【負担金】 西部広域行政管理組合負担金 △ 414千円 【補助金】 集落コミュニティ活動補助金 △ 202千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)								
款-項-目-節-細節			説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	
85-25-05-10-10			町村有物件災害共済金(自動車)		1	28		
85-25-05-45-45			総務課雑入		0	26		
90-05-10-27-02			過疎債(ソフト事業分)		11,000	△ 200	100%	

議案說明資料

議案番号		32		令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)									
(提案理由 及び 議案概要)								(単位:千円)					
款	10	総務費		項	5	総務管理費		目	1	一般管理費			
事業番号		3		事業名		防災行政無線管理事業							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		全住民に対して緊急情報や町からの連絡情報の発信を行う。					総合計画における位置づけ					
								29 みんなが地域に気を配り「もしも」に備えよう					
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		有事発生時に住民の生命財産を守るため緊急情報の発信をする。平常時は町からの連絡情報の発信を円滑にし住民福祉の増進文化の向上に資する					所信表明の「5本柱」における位置づけ					
								町民みんなが暮らしやすいまちづくり					
								根拠法令・要綱等					
								電波法 大山町防災行政無線施設条例 大山町防災行政無線施設規則					
	補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳								
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
55,200		△ 300										△ 300	
補正理由・事業概要								今回補正額の経費内訳					
【補正理由】 戸別受信機新設ほか実績見込みによる減額。								【役務費(手数料)】 防災行政無線管理事業 △ 300千円					
(財源内訳の詳細 単位:千円)													
款-項-目-節-細節				説明名称				補正前の額		補正額		補助率等	

議案番号		32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)					
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)	
款	10	総務費	項	5	総務管理費	目	1	一般管理費
事業番号		1229		事業名	震災に強いまちづくり促進事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		耐震診断を実施される住宅及び建築物の所有者や、耐震改修設計・耐震改修工事・除却を実施される一戸建て住宅の所有者			総合計画における位置づけ		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		地震などの災害から町民の方の生命・財産を守るために住宅・建築物の耐震化を支援する。			29 みんなが地域に気を配り「もしも」に備えよう		
						所信表明の「5本柱」における位置づけ		
						町民みんなが暮らしやすいまちづくり		
						根拠法令・要綱等		
					・大山町 震災に強いまちづくり促進事業補助金交付要綱 ・大山町木造住宅耐震診断事業実施要項			
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,442		△ 969		△ 485	△ 243			△ 241
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳		
【補正理由】 実績見込みによる減額。 【補正内容】 委託料 ・木造住宅耐震診断(無料) △134,200円(1件あたり)×2件＝△268,400円 補助金 ・木造住宅耐震診断(有料) △134,200円×1件×2/3≒△89,400円 ・建築物改修設計 △3,670円×250㎡×2/3≒△611,600円 (財源内訳の詳細 単位:千円)						【委託料】 木造住宅耐震診断委託料 △ 268千円 【補助金】 震災に強いまちづくり促進事業補助金 △ 701千円		
款-項-目-節-細節			説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	
55-10-45-05-05			社会資本整備総合交付金		1,218	△ 485	1/2,1/3	
60-10-10-05-05			震災に強いまちづくり促進事業補助金		608	△ 243	1/4,1/6	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総務課

議案番号		32		令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)									
(提案理由 及び 議案概要)								(単位:千円)					
款	10	総務費		項	5	総務管理費		目	5	財産管理費			
事業番号		8		事業名		財産管理費(一般)							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		職員					総合計画における位置づけ					
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		公用車の適正管理を行う。					所信表明の「5本柱」 における位置づけ					
								根拠法令・要綱等					
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳									
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
7,587		77										77	
補正理由・事業概要								今回補正額の経費内訳					
【補正理由】 公用車1台の車検時にエンジンオイル漏れが見つかり、修繕が必要なため。								【需用費(修繕料)】 自動車修繕料(総務課) 77千円					
(財源内訳の詳細 単位:千円)													
款-項-目-節-細節				説明名称				補正前の額		補正額		補助率等	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総務課

議案番号		32		令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)					
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)		
款	10 総務費		項	5 総務管理費		目	9 電子計算費		
事業番号		30		事業名		電子計算費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		職員、住民			総合計画における位置づけ			
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		住民サービスの継続性を確保するとともに、利便性の向上を図る。また、行政事務の効率化を図る。			所信表明の「5本柱」 における位置づけ			
						町民みんなが暮らしやすいまちづくり			
						根拠法令・要綱等			
						地方公共団体情報システムの標準化に関する法律 情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律 大山町セキュリティポリシー			
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
234,132		△ 3,729						△ 3,729	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 入札減による実績及び今後の支出見込みによる減額。						【使用料及び賃借料】 ウイルス対策ソフト使用料 △ 1,046千円 LGWAN接続ルータ使用料 △ 33千円 ファームバンク利用料 △ 310千円 RPAライセンス使用料 △ 1,000千円 ガバメントクラウド接続回線使用料 △ 1,340千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)									
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額		補正額		補助率等	

議案說明資料

議案番号		32		令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)									
(提案理由 及び 議案概要)								(単位:千円)					
款	10	総務費		項	5	総務管理費		目	14	情報通信費			
事業番号		11		事業名		情報通信事業							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町民、町内事業者					総合計画における位置づけ					
								25 町内のつながりで資源循環の輪をつなげよう					
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		映像及び通信信号を光ファイバーケーブルを介して利用者(町民、町内事業者)に届け、テレビ及びインターネットサービスが利用できる環境を維持するもの。					所信表明の「5本柱」 における位置づけ					
								経済産業が成長するまちづくり					
								根拠法令・要綱等					
								大山町光ファイバーネットワーク施設の設置及び管理に関する条例 ほか					
	補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳								
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
90,615		△ 1,236										△ 1,236	
補正理由・事業概要								今回補正額の経費内訳					
【補正理由】 実績見込みによる減額。								【需用費(修繕料)】 伝送路設備修繕料 △ 1,236千円					
(財源内訳の詳細 単位:千円)													
款-項-目-節-細節				説明名称				補正前の額		補正額		補助率等	

議案說明資料

提出課：総務課

議案番号		32		令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)		
款	10	総務費	項	20	選挙費	目	9 衆議院議員選挙費	
事業番号		56		事業名		衆議院議員選挙費		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町民、立候補者			総合計画における位置づけ		
						32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		選挙を円滑に執行する。			所信表明の「5本柱」における位置づけ		
						町民みんなが暮らしやすいまちづくり		
						根拠法令・要綱等		
					公職選挙法			
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,234		△ 3,540			△ 3,540			0
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳		
【補正理由】 選挙執行に伴う実績による減額。						非常勤特別職報酬		△ 316千円
						会計年度任用職員報酬		△ 225千円
						時間外勤務手当		△ 1,080千円
						管理職員特別勤務手当		△ 153千円
						謝礼金		△ 70千円
						普通旅費		△ 6千円
						費用弁償		△ 3千円
						消耗品費		△ 495千円
						食糧費		△ 86千円
						印刷製本費		△ 59千円
						通信運搬費		△ 885千円
						使用料及び賃借料		△ 100千円
						備品購入費		△ 62千円
(財源内訳の詳細 単位:千円)								
款-項-目-節-細節				説明名称		補正前の額	補正額	補助率等
60-15-10-20-09				衆議院議員選挙費		17,234	△ 3,540	10/10

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総務課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)						
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)	
款	45	消防費	項	5	消防費	目	1	常備消防費
事業番号		272		事業名		常備消防費(一般)		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		西部広域行政管理組合			総合計画における位置づけ		
						29 みんなが地域に気を配り「もしも」に備えよう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		鳥取県西部圏域の2市6町1村により組織された特別地方公共団体で、経済的、事務的効率の観点から各市町村が単独で行うより広域的に処理することが適当と思われる事務を行う。			所信表明の「5本柱」における位置づけ		
						町民みんなが暮らしやすいまちづくり		
						根拠法令・要綱等		
						地方自治法第284条第1項		
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
248,986		5,174						5,174
補正理由・事業概要					今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 西部広域行政管理組合への負担金額確定に伴う増額。					【負担金】 西部広域行政管理組合負担金 5,174千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)								
款-項-目-節-細節			説明名称		補正前の額		補助率等	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総務課

議案番号		32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)					
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)	
款	45	消防費	項	5	消防費	目	2	非常備消防費
事業番号		273	事業名		非常備消防費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		消防団			総合計画における位置づけ		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		消防団の活動に要する経費(報酬・各種手当・資機材整備・訓練活動等) 町民の生命、身体及び財産を風水害、火災及び地震災害などから守る大山町消防団の装備等の維持管理を行う。 安定的な消防団活動に寄与する。			29 みんなが地域に気を配り「もしも」に備えよう		
						所信表明の「5本柱」における位置づけ		
						町民みんなが暮らしやすいまちづくり		
						根拠法令・要綱等		
		大山町消防団条例・規則						
補正前		今回補正額	今回補正額の財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
42,920		△ 858			△ 100		△ 758	
補正理由・事業概要					今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 入札減及び実績見込みによる減額。					【報酬】 消防団員報酬 △ 300千円 【旅費】 費用弁償 △ 200千円 【備品購入費】 IP無線機 △ 100千円 【負担金】 消防大会負担金 △ 258千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)								
款-項-目-節-細節			説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	
90-05-45-22-02			IP無線機更新事業		10,000	△ 100	100%	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総務課

議案番号		32		令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)					
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)		
款	45 消防費		項	5 消防費		目	5 防災対策費		
事業番号		746		事業名		防災対策費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		防災及び災害発生時の業務にかかる人件費等			総合計画における位置づけ			
						29 みんなが地域に気を配り「もしも」に備えよう			
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		災害に備えるため、備蓄品の整備、災害対策費用の保険加入等を行う。			所信表明の「5本柱」における位置づけ			
						町民みんなが暮らしやすいまちづくり			
						根拠法令・要綱等			
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,355		△ 1,689						△ 1,689	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 今後の災害発生の見通し、能登半島地震被災地支援の今後の執行見込みによる減額。						【職員手当等】 時間外勤務手当(災害対策分) △ 700千円 管理職特別勤務手当(災害対策分) △ 350千円 【旅費(普通旅費)】 防災対策費(被災地派遣分) △ 510千円 【負担金】 災害派遣負担金 △ 129千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)									
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額		補正額		補助率等	

議案番号		32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)					
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)		
款	45	消防費	項	5	消防費	目	5	防災対策費
事業番号		1612	事業名		新しい地方経済・生活環境創生交付金事業(地方防災緊急整備型)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		災害時の避難者			総合計画における位置づけ		
						29 みんなが地域に気を配り「もしも」に備えよう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		大規模災害時における災害関連死の防止を目的として、避難所環境を改善するための敷材整備を行う。平時は、地域自主組織及び自主防災組織と連携して、訓練や地域のイベント等で活用し、取扱いの習熟や住民の防災意識の向上を図る。			所信表明の「5本柱」における位置づけ		
						町民みんなが暮らしやすいまちづくり		
						根拠法令・要綱等		
補正前		今回補正額	今回補正額の財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
0		8,303	4,151		1,000		3,152	
補正理由・事業概要					今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 災害時における避難所の生活環境を改善するため、必要な備品を整備するもの。 ・折り畳み式簡易ベッド @26,000×1.1×30台 ・プライバシーテント @44,000円×1.1×30張 ・冷暖房スポットエアコン @180,000円×1.1×20台 ・発電機 @616,000円×1.1×3台 【補助裏財源】 ・1品20万円以上で、耐用年数5年以上の発電機は起債 起債の50%が普通交付税措置 ・その他の備品は特別交付税80%措置					【備品購入費】 新しい地方経済・生活環境創生交付金事業(地域防災緊急整備型) 8,303千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)								
款-項-目-節-細節			説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	
55-10-45-05-05			新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型)		0	4,151	1/2	
90-05-10-19-01			新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型)		0	1,000	100%	